

# 菩提山城跡

## 1 菩提山城の歴史

天文 13 年(1544 年)美濃守護職 土岐頼芸(よりのり)が、岩手四郎に宛てた書状に「菩提山城之儀申出之處、・・・・」(菩提山城を守り、近江の浅井氏と六角氏が美濃へ侵入しないよう要請した)とあるのが、菩提山城に関する最も古い資料である。この頃にはすでに築城されていたことがわかる。

岩手氏は漆原に居館(きょかん)を構え、詰城として菩提山城築いていたものと考えられる。

戦国時代、この地に勢力を誇っていた岩手弾正忠信冬を、永禄元年(1558 年)竹中半兵衛の父竹中重元(しげもと)が追放し、翌年には菩提山に再構築したことが「竹中家譜」に、また竹中氏の館は西福村にあり、菩提山城が詰城であったことが「竹中家雑事記」に記載されている。

菩提山城は、標高 402m、南北約 350m、東西 150m規模であった。

重元の死後、19 歳で家督を継いだ半兵衛は、この館を拠点に活躍した。

半兵衛が三木城攻めの陣中で没した後、嫡男の重門はまだ幼少だったため、半兵衛の従弟の重利(しげとし)が城代として城を守り重門に引き継いだ。

関ヶ原合戦が終わると、重門は「戦国の時代も終わった世の中では生活に不便である」と、この城を慶長 13 年(1608 年)に廃城として岩手に館を構えた。

菩提山頂には、山を切り盛りした普請や自然を巧みに利用して豎堀、土橋、曲輪、堀切、空堀、切岸など多くの歴史的遺跡が残っている。

山頂までは、約 1.3 km~2 km(4 コース)のハイキングコースがあり、手軽に登れる城跡として親しまれている。

## 2 菩提山城の構造

本曲輪、二の曲輪、三の曲輪及び台所曲輪が 1 組になって城の中核部を構成し、その他に多数の削平地を有し、2つの大堀切、多数の豎堀及び横堀とからなっている。塁はすべて土塁であり、石塁が見られないのが特徴で、最も完成型に近い土塁による城郭といわれている。

### ① 曲輪(くるわ)

山城においては、平坦な敷地を確保するために、人工的に山肌を削平し設けた区画を指す。

平地に建てられている平城などでは空堀や水堀、塀、石垣、河川などで曲輪を区画する。

形状や場所、使用目的により本曲輪、帯曲輪、鍛冶曲輪、山里曲輪など様々

な名称で呼ばれている。

② 土塁(どるい)

曲輪の周囲などに土を盛り上げ、敵の攻撃から城内部を防御するもの。

自然の地形を削って築いたり、堀を掘った際の残土で築く。

築城技術が発達した後の時代においても、石材が乏しい地域では石塁を使わず、土塁を有効に使用した築城が多く見られる。

③ 堀切(ほりきり)

曲輪を区画、分断するため、峰や尾根を堀で切った山城特有の防御手段。

これを設けることにより尾根筋からの連続性を意図的になくすことができ、敵の侵入を阻むことができる。

④ 空堀(からぼり)

水のない堀のことで、主に山城で用いられており、平常時には底面を通路として使用できる。

⑤ 横堀(よこぼり)

城郭の周囲を水平に取り巻く堀である。

⑥ 豎堀(たてぼり)

空堀の1種で、山の斜面に等高線に対して直角に掘られた空堀。

敵が山腹を横に移動することや、登ってくるのを防ぐ目的がある。豎堀が連続的に並んでいるのは、畝状豎堀と呼ばれている。

⑦ 切岸(きりぎし)

山城などで、敵が登れないように曲輪の周囲の斜面の自然地形を削り取って絶壁を造った。そして、その中段辺りに乱杭や逆茂木を設置し、犬走りを巡らせたりして防禦施設としたもの。

⑧ 土橋(どばし)

虎口の前を、通路部分だけを残して、左右に堀を掘った場合、残された通路のことを土橋と呼ぶ。

⑨ 虎口(こぐち)

城の出入口のことで、主に戦いのときの出入口である。城の内外、曲輪間を結ぶ場所にある。両脇を土塁や堀で固め、木戸や門が設けられている。

⑩ 馬出(うまだし)

城門の前の堀を渡る土橋などの先に設置された小さな曲輪を馬出という。攻城戦においては守備にも攻撃にも便利な陣地となる。

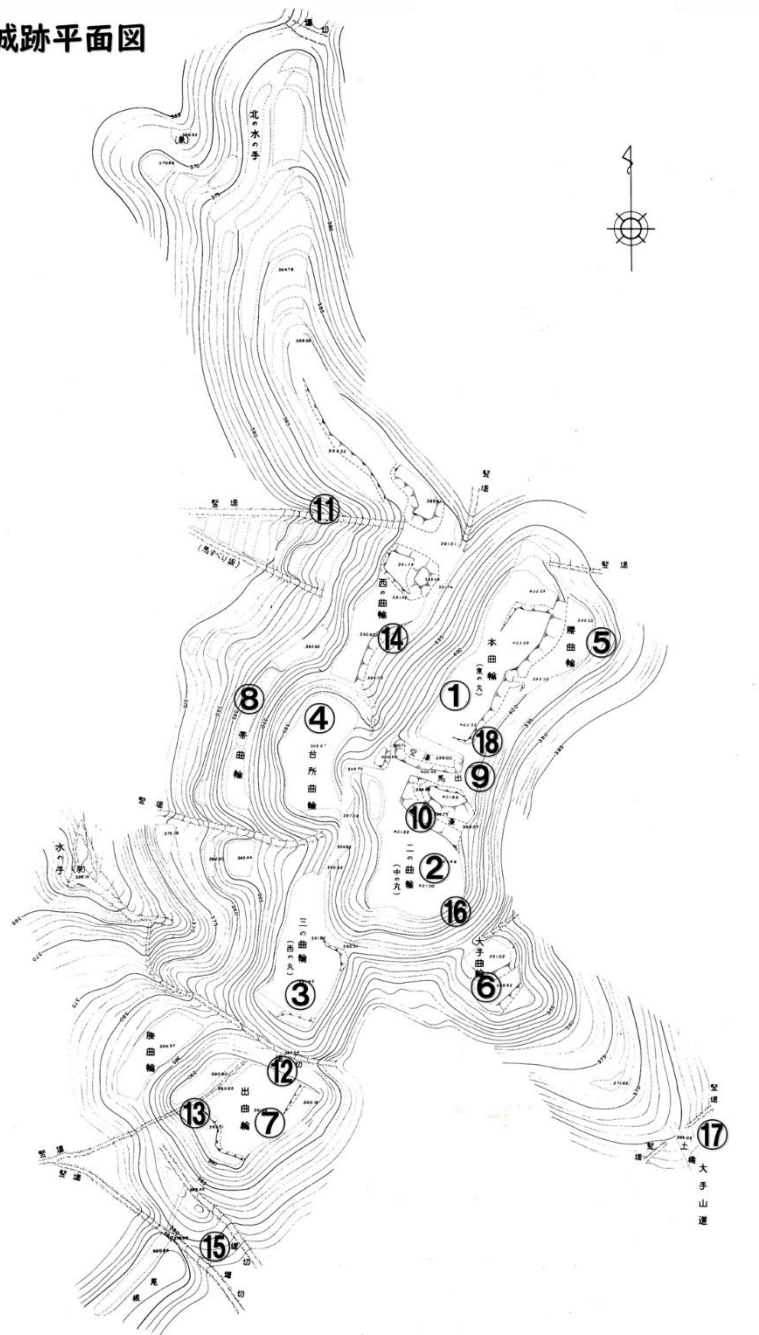
この馬出の周囲には堀を巡らせている。馬出の形により角馬出、丸馬出などと呼ばれる。中世では、武田氏の城郭でよく用いられた。

⑪ 畝状豎堀((うねじょうたてぼり)

豎堀を密集して斜面に築き、群として並べて面を被う遺構である。

岐阜県では、飛騨地方や越前朝倉との折衝地点である郡上地域で多く見ることができる。菩提山城には、3条の畝状豎堀がある。

菩提山城跡平面図



# 菩提山城跡

前頁の平面図の番号参照

①本曲輪(ほんくるわ)



②二の曲輪(にのくるわ)



③三の曲輪(さんのくるわ)



④台所曲輪(だいどころぐるわ)



⑤腰曲輪(こしぐるわ)



⑥大手曲輪(おおてぐるわ)



⑦出曲輪(でぐるわ)



⑧帯曲輪(おびぐるわ)



⑨馬出(うまだし)



⑩空堀(からぼり)



⑪竪堀(たてぼり)



⑫堀切(ほりきり)



⑬土塁(どるい)



⑭横堀(よこぼり)



⑮畝状竪堀(うねじょうたてぼり)



⑯切岸(きりぎし)



⑰土橋(どばし)



⑱虎口(こぐち)



菩提山城跡概要図・作図 中井 均（滋賀県立大学人間文化学部准教授）



菩提山城跡概要図（作図：中井 均）

- |         |            |        |       |
|---------|------------|--------|-------|
| ① 本曲輪   | ② 二の曲輪     | ③ 三の曲輪 | ④ 出曲輪 |
| ⑤ 台所曲輪  | ⑥ 西の曲輪     | ⑦ 帯曲輪  |       |
| A 土塁    | B 土塁       |        |       |
| ア 巨大な堀切 | イ・ウ 大規模な縦堀 | 工 縦堀   |       |